

やすらぎ通信



12・1月

「艱難、汝を玉にす」

苦勞を経験することで立派に成長する

中国の古い言葉に『艱難、汝を玉にす』があります。

人間は苦勞を経験することで、立派に成長するとい
う意味です。『進化論』の中でダーウィンは植物を多少
いじめないと、花も咲かないし、実も成らない、と記
述しています。

梅は寒ければ寒いほど美しい花を咲かせ、反対に暖
冬の時は花が咲かないというところもあります。また、
ゾウリムシなどの原生動物は、平和な環境だと分裂生
殖がなくなり、死滅してしまい、また、汽車などに乗
せて揺さぶってやると復活して今度は元気に生殖をす
るそうです。

江戸後期の禅僧、歌人、書家の良寛さんは越後出雲崎
の生まれ。厳しい十数年の修行後、四十七歳の時に越
後国上山の五合庵に入られ、生涯、寺を持たずに托鉢
をして歩いたお方です。質素な暮らしをされ、書を愛
し、自在純真な歌を残しました。

良寛さんは『災難があつたら、災難に堂々と遭いな
さい』それが災難を逃れる方法である、と言っておら
れます。当たり前のようですが、良く考えてみますと、
逃げようがない困難の時には立ち向かっていくしかあ
りません。心構えて、腹をくくって、『どーんと来
い！』この気持ちが大事故じゃないかと思うのです。
何か起こるのではと、おどおどして逃げ惑うのでは
なく、現在の状況で『何をしたらいいか』を的確に判
断することが先決。とっさの正しい判断力が重大であ
り、災難回避の要になるでしょう。

「和尚のちょっとしたいい話」より

三明寺 住職 大嶽正泰 合掌



第93回 じぞう寄席 古今亭菊之丞さん



昨年の鏡もち作りの子供たち

【檀信徒行事予定】

十二月

- 芹沢家十三回忌
- 一杉家十三回忌
- 安岡家開眼・埋葬
- 道了講
- 園田家廿三回忌
- 大谷家十三回忌
- 加藤家四十九日
- 泉家三回忌
- 荻津家十三回忌
- 餅つき・忘年会
- 前嶋家七七日
- 砂山家七七日
- 除夜の鐘、年越しそば

一月

- 新年祈禱
- 年頭挨拶巡り
- 道了講
- はしごのり開運祈願
- 林家一周忌
- 節分会大祈禱

【住職・寺族行持予定】

十二月

- 梅花検定会（大泉寺）
- 沼津仏教会托鉢（妙覚寺）
- 六教区托鉢

一月

- 成人式（門池中体育館）

9日	24日	23日	9日	29日	11日	6日	6日	31日	30日	25日	23日	18日	17日	17日	11日	11日	8日	7日	4日	2日
9時30分	13時	13時	9時	14時	11時	11時	10時	11時	11時	11時	9時	11時	14時	11時	11時	10時	10時	10時	12時	15時

【三明寺文化倶楽部行事予定】

一月

- 土・日曜日坐禅会
 - 月例坐禅会
 - 写経会
 - 御詠歌（寺族）
- ※保護司山本美美子さんのご協力により写経会を始めることになりましたので、御参加ください。

【お知らせコーナー】

□かめき霊園の駐車場完成

従来の駐車場に加えて、新しく駐車場を東側に整備しました。今まで以上に駐車が便利になりました。

□三明寺別館を研修所に開設

文化クラブの研修会、展示会としてご利用下さい。

□三明寺裏、門池公園整備事業工事始まる

三明寺裏の多目的広場が駐車場を含め、平成二十五年完成で公園として整備されます。また、門池地区センターも並行して工事が行われます。

□中国禅宗の祖席参拝旅行

ダルマ大師より脈々として伝わった五祖様まで巡拝させていただきます。

中国仏教は共産主義でありますが大変活況を呈しています。文化大革命で破壊された寺院が次々に復興建立されています。宗教的パワーを強く感じました。

□弟子の堀井雅志座元が大雄山最乗寺修行おわる

半年の修行を終え無事帰山しました。三明寺の法務、作務、坐禅、祈禱等執事しています。

【編集後記】

○正月号と併せて今回送付することにしました。尚、「クシテイガルバ」の名前を解りやすい「やすらぎ通信」に変更しました。内容は変更しませんので御愛読下さい。

○家族の近況は長男が愛知学院大学文学部宗教文化学科三年生。二男が駒沢大学仏教学部入学決定。三男が高校受験中。四男が来期中学三年生となります。小生も六十六歳になり年金を頂き一年経ちました。来年は龍年、今年は「絆」の字に評されるように災難によって家族のキズナの大切さに気づかされました特別な年でした。何事があっても不動心も以て対処する心が大事かと思えます。(O・S)

平成二十三年十二月一日 第41号

発行(宗) 曹洞宗 大嶽山 三明寺
編集所 大嶽山 正泰

住所 沼津市大岡字三明寺4051
電話 055・929・2323
FAX 055・929・2324
URL http://www.samyouji.com
メール info@samyouji.com

中国禅宗祖跡の参拝一行団(4月、11月)



五祖寺の監院さんと共に



青原山にて住職と共に



三祖寺にて参拝者の面々



六祖惠能禪師が修行の時の米つき場



五祖弘忍禪師ミイラ仏



ダルマ禪師が中国にわたる姿 二祖寺に於いて



1メートルある寄贈された天狗面



見事に咲いた甘鉢の蓮の花

三
明
寺
2
0
1
1



節分会にて30団体の御輿渡御の皆さん



小田原大雄山の修行に入る堀井雅志さん



菊之丞師匠を囲んでのじぞう寄席役員



カンボジアに新しく建設寄贈された小学校々舎